

Kurashiki Area

倉敷都市圏版

この紙面は読者のみならず

山陽新聞社ホームページ <http://www.sanyo-nippo.co.jp>

まちナビ

出かけませんか @ 倉敷・岡山

ぬくもりある手仕事「がらり」。陶芸や木工、染織、ガラスなど全国26都府県のクラフト作家79人が展示販売や制作実演をする「フィールド・オブ・クラフト倉敷」(実行委主催、山陽新聞社後援)が8、9の両日、倉敷市中央の市芸文館前広場で開かれる。青空の下、手作り品の魅力に触れてみては。(松原悠)

あすから「フィールド・オブ・クラフト倉敷」

イベントは、使うほどに味わいを増すクラフト品の魅力を伝えようと、民芸が息づく倉敷を舞台に2006年に始まった。作り手と使い手がオープンな雰囲気交流を楽しめるよう会場は野外。昨年は2日間で、全国から約1万人を集めた。

「物作りの現場」を知ってもらおうと、各ブースには道具や作業工程を紹介する写真などを展示。5回目の今回は初めての試みとして、各作家が物作りへの思いやこだわりを記した「一行テーマ」も発信する。

陶磁器やガラスのほか、布、革、竹、フェルト製品、金工、漆芸、手すき和紙などの作家が集

陶芸、木工、染織、ガラス…

手仕事の魅力いっぱい



全国79作家集合 市芸文館

合。両日とも午前10時 木の動物や動く木のおと午後1時から、組み もちゃを作ったり、陶

(086-275-18002)。

芸、草木染、指編みを体験できるワークショップ(参加費500円)、当日受け付け)を開く。手作りや素材にこだわった飲食の販売ブースも並ぶ。
土岐一嘉実行委員長
「(49)岡山市中区祇園」は「使う時に作家の顔が浮かぶのがクラフト品の魅力。制作体験や作家との会話を楽しみ、物作りの原点を感じてほしい」と話す。

手仕事の作品が並ぶ「フィールド・オブ・クラフト倉敷」。青空の下、作家との交流も楽しめる。昨年5月

魅力を次世代に伝えていくため、親子連れでの来訪も呼び掛ける。両日とも午前10時、午後5時。雨天決行。問い合わせは実行委